



歴史と自然を満喫 めんこいウォーク

史跡地などを歩いて巡る「めんこいウォーク in 平泉」(岩手めんこいテレビ主催)が10月21日、旧観自在王院庭園を発着点に開かれました。

同ウォーキングは「平泉 - 浄土思想を基調とする文化的景観」の世界遺産登録支援事業の一環。約450人の参加者は、5キロと7キロ、12キロのコースに分かれて、無量光院跡や高館、中尊寺などを巡り、奥州藤原氏時代の平泉に思いをはせていました。

ウォーキング後は旧観自在王院庭園内で抽選会などが行われました。



児童らが橋名板を除幕 新しい国道4号衣川橋

架け替え工事が完了した国道4号衣川橋の「橋名板」除幕式が10月19日に行われました。

橋名板の文字を書いた千葉遙奈さん(平泉小6年)達谷屋佐紀さん(同)らが参加し、家族や関係者らと一緒に除幕しました。

国道4号の切り替えは21日に開通しました。



演芸や模擬店で盛大に 黄金荘で恒例の黄金祭

今年で15回目を迎えた黄金荘(得田和明施設長)の黄金祭が10月21日、同荘で開催されました。

会場には、利用者たちが丹精込めて作った野菜や手芸品などの即売コーナーなどが設けられたほか、ステージでは町内外の団体が次々に演芸を披露。詰め掛けた大勢の観客をにぎわせました。



待望の完成を祝う 平泉保育所落成式

平泉保育所の落成式が10月28日、同保育所で行われ、父母や来賓、関係者らが施設の完成を祝いました。

式典には約60人が参加。高橋町長が「幼保一体の実践を進めるとともに、子どもたちの健全な発達に努めたい」とあいさつしました。

施工業者に感謝状を贈った後、年長組の園児が童謡「たき火」「パレード」を元気に歌い、落成に華を添えました。

保育所の改築は、幼稚園との将来的な一体運営を目指して整備されました。



収穫の喜びを味わう 小学校で稲刈り体験

長島小が10月10日、平泉小が17日に、それぞれの学習田で稲刈り体験学習を行いました。

このうち長島小では、5年生27人が稲刈りを体験。自分たちが春に植えた苗の成長を確かめるように、慣れない手付きながらも次々と稲を刈り取り、収穫の喜びを肌で感じていました。



防犯機材・設備を学ぶ 安全願ってもちつきも

全国地域安全運動にちなんだ「2007安全・安心な気もちつき大会 in HIRAIZUMI」が10月18日、平泉郷土館で開かれました。

当町と一関市の防犯関係者約80人が参加。最新の防犯機材や設備を学び、大会の最後にもちをついて「安全安心な気“もち”」を呼び掛けました。

狂言900人が堪能 万作・狂言十八選

狂言師で人間国宝の野村万作さんによる「万作・狂言十八選 第四回」が中尊寺白山神社能舞台で開かれました。

佐々木宗生さんの仕舞「熊坂・長袴」で開幕し、野村万之介さんらが、無風流な大名を風刺した「萩大名」を上演。万作さん、萬斎さん親子が、庶民の生活感情をコミカルに描いた「木六駄」を演じました。

狂言十八選は、万作さんの活動の集大成ともいえる連続公演。各地をめぐり、約3年で完結させます。今回は四会場目でした。



発掘調査の成果発表 2遺跡で現地説明会

県教委による柳之御所遺跡と町教委による無量光院跡の19年度発掘調査現地説明会が10月13日、両遺跡で行われました。

柳之御所遺跡では、復元した園池を初めて一般公開。「本年度中に給水施設を完成させ、周辺の植栽を進める」と紹介されました。

無量光院跡(写真)では、本年度見つかった溝跡などを公開。溝は池跡に水を引き入れる12世紀の導水路とみられています。

約300人の参加者は、調査員の説明を聞きながら、歴史のロマンに思いをはせていました。

